



12月になりました。12月のことを日本語では「師走」、英語では「December」と呼びます。同じ月でも言語で表現方法はさまざまです。その歴史を紐解きながら2025年を振り返っていきましょう。

■ ゆく年くる年 ～ 師走に込める思い

- 街路樹の葉が冬の光に揺れ、頬をかすめる空気にも季節の冷たさが増してきました。気づけば今年も残すところわずかとなり、いよいよ12月を迎えます。日本語ではこの月を「師走(しわす)」と呼びますが、この言葉には古くからさまざまな解釈が存在します。最も広く知られている説は、「師(僧)が走るほど忙しい」というものです。年末には仏事や挨拶回りが多く、僧侶があちこちを忙しく動き回る様子から、慌ただしい年の暮れを象徴する語として「師走」という漢字が当てられたとされます。ほかに、古語の「しはす(年果つ=年が終わる)」が転じた説、「為果つ(しはつ)」から変化したとする説などがあり、日本文化が古くから年の区切りをどれほど大切にしてきたかが、語源を探るだけでも感じられます。

- 一方で、英語の“December”はラテン語のdecem(10)に由来し、「10番目の月」を意味します。現在の十二月がなぜ「10」を語源に持つのかは、ローマ暦の歴史に関係しています。ローマで最初に用いられた暦は10か月制で、Martiusを年の始まりとし、Decemberは10番目の月でした。冬の期間は農作業ができず、そもそも暦に含める必要がないと考えられていたのです。しかし、その仕組みでは一年の長さ(12か月)と暦が一致せず、徐々に季節とのずれが生じていきました。この不便さを改善するため、ローマの第1代王ヌマ・ポンピリウスが冬の時期にIanuarius(1月)とFebruarius(2月)を追加し、12か月制の暦が生まれました。これに伴い、もともと「7・8・9・10番目」を意味していたSeptember, October, November, Decemberは2か月後ろにずれ、現在と同じ9月から12月に対応するようになりました。しかし名称はそのまま残されたため、“December”は今でも「10」を語源に持っているのです。

日本語の「師走」が年末の忙しさを映し出すのに対し、“December”は暦そのものの歴史を刻む言葉であり、同じ12月を示す語であっても背景にある文化や価値観が大きく異なることに気づかされます。

- こうした文化の違いがあっても、12月が「1年の締めくくり」である点は世界共通です。人々はそれぞれの国や地域で独自の行事や習慣をもちながら、この一年を振り返り、新しい年を迎える準備を進めます。日本では大掃除や年賀状、餅つきなど、年越しのための行事が多く、家庭や地域において伝統が脈々と受け継がれています。ここ英国でも冬休みはホリデーシーズンとして家族や友人と過ごし、人とのつながりを確かめながら新年を迎える文化が根づいています。形は違っても、「感謝」「振り返り」「希望」という要素が12月に広く共有されているのは興味深いことです。

■ 一人ひとりが成長を実感できる12月に

- 12月には社会的行事や活動が多く、学期の締めくくりとしての役割も大きい月です。冬休み前の学習のまとめや生活面での準備など、日々の取り組みの積み重ねが落ち着いた新年へとつながります。「師走」という言葉が示すように慌ただしさが増す時期だからこそ、周囲の人を思いやり、自分の心と体を整える時間を大切にしたいと思います。また、英語の“December”が古代から現代まで受け継がれてきた歴史を内包しているように、皆さんがこの学校で過ごす時間も、やがて人生の中で大切な記憶として残っていくことでしょう。2025年という一年を、最後の月でしっかりと振り返り、前向きな心で締めくくってほしいと思います。そして、令和8年(2026年)が皆さんにとって実り多く、希望に満ちた一年となることを心より願っています。



= ロンドン日本人学校ニュース（12月号） =

現地校交流が開催されました！

ロンドン日本人学校では、「体験的な学習を通して異文化への理解を深め、共に生きていこうとする態度を育む」ことを目的に、現地校との交流活動を行っています。11月14日（金）には、主にギリシアにルーツをもつ児童生徒たちが通うグreek校との交流が本校で実施され、本校の小学部3年生と6年生が参加しました。言語や文化の異なる友だちと共に活動する中で、互いの国の特色を紹介し合い、理解を深める貴重な機会となりました。続いて11月20日（木）には、小学部4年生がフレンチ校を訪問し交流を行いました。また同日には、スパニッシュ校の教職員と児童が来校し、小学部2年生と活動を共にしました。教室や校庭での共同学習やゲームを通して、子どもたちは異なる文化に対する興味や親しみを自然と深めていました。



スパニッシュ校と本校で交流（小2）



フレンチ校との訪問交流（小4）



グreek校と本校で交流（小3／小6）

★保護者の皆さまへ

積雪等緊急時の学校の対応について

冬季は、積雪等のために臨時休校や授業開始時刻を変更する事態が想定されます。その場合は、以下のように連絡をさせていただきます。ご確認をよろしくお願いいたします。また、学校の Google Classroom のストリーム等もご確認をよろしくお願いいたします。

1. 児童生徒の全家庭へ

午前6時00分に学校から「緊急一斉テキストメッセージ」にて連絡をさせていただきます。※返信は不要です。

2. 通学バスを利用している児童生徒の家庭へ

学校から「始発バス停連絡係」に電話で連絡をします。連絡を受けた「始発バス停連絡係」は、バス緊急連絡網で共有をお願いします。

※ 通学バス利用のご家庭には、緊急一斉テキストメッセージとバス緊急連絡網の2つの方法で連絡が入ります。お手数ですが、双方にご対応くださいますようお願いいたします。

※ メッセージ等の連絡がない場合は、平常通りです。登下校の安全には十分ご注意ください。



令和8(2026)年度 年間行事予定

※変更の可能性があります

